

こさい太郎を育てる会事務所開設 一月七日 事務所開き！

こさい太郎を育てる会（以下育てる会）の事務所開きが、一月七日（土）午前十一時より、南青山五の四の二十九、BLUE NOTE 東京向かいの新事務所内にて、開催されました。

約五十名の区民の見守る中、こさい太郎より「住み続けられる港区を創っていききたい」と、力強い決意表明が宣言され、盛大に事務所開きを終えました。

厳かな雰囲気の中、小野紀美子さきがけ東京副代表より、「港区は新しいものの中に、伝統のあるものが存在する、魅力的な区です。若い力を存分に活かし、若い感性と伝統とを調和させるべく、ぜひとも頑張つて欲しいと思います」と激励のことばも頂きました。

若い力を地元のために！

育てる会としては、こさい太郎の若い力を、区民の皆様役に役立てていきたいと願い、「MINATO たろう通信」を創刊し、隔週で皆様にお届けいたします。紙面では、活動内容や港区のニュースと共に、こさい太郎のコラムを連載していく予定です。

育てる会事務所は、青山骨董通り沿い（下記地図参照）にありますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

こさい太郎を育てる会
港区南青山5-4-29
TEL 03(5485)9111
FAX 03(5485)9100

ご意見、ご要望等を
どしどしお寄せ下さい

「こさい太郎のコラム」

今、港区の問題点はズバリ、人口減少と高齢化です。そして、港区発展のキーワードは「人」であると確信しています。

港区で生まれ育った友人は言います「結婚する頃には港区に住めないだろう」と。私も含め二十歳代の若者は、特に経済的に、港区に住み続けることが非常に困難な状況にあります。この世代はこれからの港区を担う子供を設ける世代です。「若者が減る→子

供が減る→高齢化が進む」の構図が出来上がりつつあります。

ふるさとの意識を持てる区民が減るということは、地域コミュニティが消失し、区民の声を区政に反映させられなくなる事なのです。まさに「人」がいなければ「港区」なしです。

二十一世紀、活気あふれる「ふるさと港区」を区民の手で創りあげていくためには、若い感性と伝統の融合が必要です。行政主導

の区政から住民本位の区政に移行させていくためにも、「人」が住み、「人」を育てる政策の立案が緊急の課題なのです。

今後数回にわたり、「住み続けられる港区」実現のための具体的の方策について連載したいと思っています。

最後になりましたが、是非多くの方にお読み頂き、ご意見を賜れば幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

「こさい太郎を育てる会」による活動

夜廻り

十二月下旬より二月の立春までの毎日、事務所近郊において、夜十時より約三十分間、拍子木を打ちながら夜廻りを行なっています。お時間のご都合のよろしい折には、是非ご協力下さい。

小集会の開催

区民の皆様とこさい太郎が直接ふれあい、お話させて頂く会を開きたいと考えております。場所と時間を決めて頂ければ、いつでもお伺い致します。事務所での開催も大歓迎です。

空き缶、乾電池、使用済みテレホンカードの回収

リサイクル運動の一環として、右記三点を事務所において回収致します。特に空き缶は港区より一本一円相当の図書券と交換して頂けます。事務所へのカンパとしてもご協力をお願い申し上げます。

さきがけニュース

堂本参院議員社党離脱、さきがけへ

国会内会派「社会党・護憲民主連合」所属の堂本暁子参議院議員は、一月五日、同会派を離脱し、近く新党さきがけに入党することを明らかにした。堂本氏は、非党員の「市民派」議員として地球環境問題などに取り組んできた。堂本氏が新党さきがけに入れば、同党で初の参議院議員となる。

区民の皆様へのお願ひ

看板設置場所募集

「こさい太郎」の看板が、出ま上がりました。公職選挙法により、港区区内に十二箇所に掲示できます。つきましては、皆様の中で設置場所をご提供頂ければ幸いです。

ボランティアスタッフ募集

宛名書き、チラシ折りなどのスタツフが不足しております。お時間のある方は、是非ともお手伝いをお願い致します。心よりお待ち致しております。

編集後記

あけましておめでとーございます。平成七年の幕明けとともに、「こさい太郎を育てる会」新事務所開きを、滞りなく終えることができました。関係者各位には、多大なるご支援を賜り、紙面を借りて、ここに改めてお礼申し上げます。今後とも、こさい太郎を育てる会にご指導、ご鞭撻頂きますことをお願いするとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。